

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和元年6月7日(金)
午前11時11分から午前11時20分
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長)堀巖(副委員長)鬼頭博和
(委員)片岡健一郎、水野忠三、宮川隆、伊藤隆信、木村冬樹
- 5 説明員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 隅田昌輝、同主任 高野真理子
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) 行政視察について

堀議員：内容は、10月に予定している行政視察について。日程と、一部の議員から視察先の提案をいただいている。それらについて審議する。情報としては、10月7日からの週については、厚生委員会がすでにおさえていると聞いているので、そこを外した日程でお願いしたい。

木村議員：10月14日からの週が、消防観閲式が20日にあるということで、消防団の夜間訓練がある。欠席すればいいだけの話だが、配慮できるなら外していただきたい。その次の週になると、例月出納検査が23日に監査委員として入っており、厳しくなる。やはり14日の週かとも思う。

堀議員：例えば、10月1日あたりの日程で視察に行くという手もある。そのあたりの日程でみなさんの都合はどうか。

(良いと発言するものあり)

堀議員：いいですか。皆さんは10月の第1週でもオッケー。それから、14日からの週でもオッケーということで、柔軟に考えていいか。では、正副委員長のほうで調整したいと思う。あと、視察先について、何か考えていることがありましたら、お願いします。

水野議員：今、話題になっている会津若松市を選択肢の一つに検討していただきたいと思う。先端的な取組、ITとかスマートシティということで、震災後の様々な取組で注目するところが多いと思うので、会津若松市を提案したいと思う。

宮川議員：千葉県の柏市の取組だが、最近、土地の利用に関する法律の変更があり、全国的に取り組まれている課題ではあるが、それとは別に、柏市独自で、小規模の空地をどのように利用するのか、基金を積み上げて、自由度を増すという取り組みをしているので、そこはおもしろいと思う。可能であれば、そこも行って話を聞きたい。

水野議員：宮川議員が言った場所と会津若松と、移動できると思うので、セットでということも選択肢でありかと思う。

事務局長：柏市だが、昨年、総務で訪問している。

堀議員：テーマが違えばいいのではないか。

鬼頭副委員長：昨年は、どんなテーマで行ったのか。

堀委員長：農業。

鬼頭議員：考えているのは、場所ではないが、災害対応について、岩倉市は大きな災害が起こっていないので、当局の体制が万全ではないと思う。災害が起こったところに視察に行って、市がどういった災害対応、具体的に職員がどういった動きをするのかとか、そういったものが構築できているところに行ってみたい。場所は決めていない。行くなら震災が起こった周辺。

木村議員：会津若松というのは、スマートシティと言ったけど、実証実験をやっているということか。AIだとか、ロボテックスの技術について。

水野議員：自分の認識不足のところはあるが、町づくりの中で積極的にそうした取組をされていると聞いている。

木村議員：わかりました。資料をそれぞれ出して、正副委員長に出して、考えていきたいと思う。私個人としては、空き家対策でうまくいっているところがほとんどないので、そこが関東のほうであればと思うし、もう一つ問題意識は消防団の確保のところ、学生や女性の消防団員を確保してうまくいっているところが関東であれば、見たいと思う。

堀議員：出された意見を参考にして正副委員長で調整したいと思う。意見があれば適宜よろしくお願いします。